

校長だより 第 29 号



すてきな島



H27.9.18 日間賀中学校長 井本 仁

「あいさつは先に」
「返事は大きく」
「気づき、考え、行動する」

9月15日(火) 3年進路説明会

生徒、保護者を対象とした進路説明会を開催しました。今回は、全体の説明の後、模擬面接も行いました。3年生は、2学期に入り、いよいよ中学校卒業後の進路を考え、受験をしっかり意識する時期となってきました。すべての生徒が自分の将来のことを真剣に考え、それぞれの夢に向けて努力して欲しいと思います。



9月16日(水) 島っ子クリーン活動

日間賀小学校と日間賀中学校の児童生徒で、「島っ子クリーン活動」を実施しました。これは、小学校と中学校合同の取り組みで、「島の子どもたちで、島をきれいにし、ゴミの落ちていない島にしていこう」というテーマのもと、朝、30分程度ゴミ拾いをした後、登校するというものです。中学生は小学生のお手本として、また、小学生は中学生に教えてもらいながら、しっかり取り組むことができました。



9月16日(水) 町少年の主張大会



南知多町の少年の主張大会があり、町内の中学校の代表生徒の発表がありました。本校からは1年生の齋藤崇人さんが『「当たり前」のありがたさ』という題で、立派に発表してくれました。また、参加した1年生の態度も良く、皆、各学校の代表生徒の発表を真剣に聞くことができました。

なお、崇人さんの発表内容については、次号で詳しく紹介したいと思います。

9月14日(月) 朝会

生徒発表（9月のテーマ：2学期を迎えて）

鈴木 架音さん（3年）

- 2学期は行事が多く、3年生は一つ一つの行事が最後となるので、クラスや生徒全員で協力して、いい思い出に残るようにしたい。
- 1学期に比べ、受験を実感するようになった。志望校目指して勉強をがんばりたい。
- 時間を効率よく使い、これら2つのことをがんばりたい。

清水 勇貴さん（2年）

- これまでは、提出物を忘れることがあったが、2学期は、提出物をしっかりやっていきたい。
- 「高校に入ると、課題の量が増えるので、今のうちからしっかりやらないとついていけなくなる。」ということを経験から言われているので、これからしっかりやろうと思う。

校長の話

この日の朝会では、こんな話をしました！

とても嬉しかったことです。

先週、豊浜の障害者福祉施設の方から、1本のお電話がありました。お礼の電話でした。

「夏休みのボランティアで来てくれた日間賀中学校の生徒さんが、本当によかったのので、どうしてもお礼が言いたくてお電話をしました。日間賀中学校の生徒さんはみんな明るく、笑顔で、気持ちよく、障がいのある方と接してくれました。また、よく気がついて、相手の方が困っている様子を見ると、すぐに動いてくれていました。近年まれに見る素敵な生徒たちでした。本当にありがとうございました。」

このようなお話でした。私が直接お話を伺ったのですが、その方は、本当に嬉しそうに感謝の言葉を述べてくださいました。私は、とても嬉しく思いました。

相手の方がこんなに喜んでくださるということは、このボランティアで活動した生徒たちの態度が本当によかったのだと思います。「よく気がついて、すぐに動いてくれた」ということです。先日もお話ししましたが、「気づき、考え、行動する」ことがしっかりできていたのだなあと思います。また、この施設ではなく、他の場所でのボランティアを行った人もいますが、おそらくしっかりやってくれたのではないのでしょうか。やっぱり、あなたたち日間賀中学校の生徒は素晴らしいですね。

今回、施設の方が、わざわざお礼のお電話をしてくださったおかげで、私たちも嬉しい気持ちになったわけです。やっぱり思っているだけでなく、しっかりと言葉で伝えることはとても大事だなあということを感じました。

最後に、ボランティアをしっかりとってくれた人たちに、改めてお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました！